

# 会計情報学科に入学されたみなさんへ

2022.4 入学生 version

## 会計情報学科とはー

企業を取り巻く「お金の流れ」を、理論的・実践的に学ぶ学科です。

企業経営において重要な「お金の流れ」に関することを理論的・実践的に学びます。例えば、「企業のもうけ（利益）はどのようにして計算されるのか」という問題や、「製品を作るのにかったお金（原価）を計算した情報が経営にどのように役立つのか」といった問題を探っていきます。

会計情報学科は、国立大学法人では数少ない会計関係の専門学科です。



By Kenny

滋賀大学経済学部会計情報学科

## I この時期に知っておかないといけないこと

- ・学習類型の選択に関連して、会計情報学科関連科目のうち、春学期には、「簿記会計」を履修してください。  
秋学期には、「会計学基礎」を履修してください。

いずれの単位も取得しないと、大変なことになります。

- ・簿記の資格を有している人は、単位の認定があります。所定の期間までに手続きを行いましょう。

\*秋学期にも同様に単位認定のための期間を設けています。

\*上記いずれの期間についても、個人的にきちんと確認しましょう。

日商 3 級	簿記会計②
全経 2 級	簿記会計②
日商 2 級以上	簿記会計②+中級簿記 I ②+中級簿記 II ②
全経 1 級会計	簿記会計②+中級簿記 I ②
全経 1 級工業簿記	簿記会計②+中級簿記 II ②
全経上級	簿記会計②+中級簿記 I ②+中級簿記 II ②

- ・以前に比べると日商 2 級の難易度が上がり、日商 3 級も今年度から難易度が上がります。これまで以上に勉強時間をとらないといけませんので、取得を考えている人は、余裕を持って計画を立てましょう。また、全経を中心に勉強することも、選択肢のひとつでしょう。
- ・国家試験（公認会計士・税理士）は、大学以外（専門学校）での学習も必要です。興味のある人は、生協にパンフレットがありますので見てみてください。

## Ⅱ 「学習類型」とは？

(経済学部ホームページより)

専門性の獲得の方向を自ら選択し学ぶことができる学科-学習類型制度。

5学科の所属は、出願時に出された希望順位をもとに合格発表時に決定。

学習類型は 入学後に学習を踏まえて選択 学びに基づいて自分の学習方向を決める。



例えば、経済学科所属で

分野を深めるタイプ

経済学の専門性をより高めていきたい →経済社会分析類型

複数分野を学び専門性を広げるタイプ

金融分野に進みたい

→ファイナンス類型

企業経営や組織について学びたい

→マネジメント類型

他のどの類型も選択することができます。

.....  
...

会計情報学科に関連する学習類型は、「企業会計類型」と「企業分析類型」の2つです(もちろん、必ずしもこれらを選択する必要はありません)。

### Ⅲ 企業会計類型

戦略及び経営管理の基礎情報である会計制度と会計情報に関する基礎知識と理論を学習するための科目を軸として、企業経営、市場・社会に関する視点を涵養するための科目により構成し、企業内外における会計専門家として必要な力の獲得を目指す学習への指針を提示する類型。

財務諸表作成のために関連する基準・法令等の知識や諸外国を含めた会計制度の歴史の変遷に関する理論について学びます。また、企業内外における会計専門家として役立つ知識の習得を目指します。

会計情報学科に入学したみなさんの中には、会計専門職を志望している人も多いでしょう。卒業後の進路・就職先・業種としては、公認会計士、税理士、国税専門官、証券アナリスト、コンサルタントがあげられます。また、金融業、製造業、ソフト業界、商社、小売業などほとんどの業種と公共部門・公益業における経理・会計部門や財務部門の会計専門家があげられます。このような専門的職業人は、一般に“アカウント”と呼ばれています。もちろん経理部門・財務部門に配属されても、会計専門家として生涯を過ごすとは限らず、40歳代以降は各部門の中級管理者（ミドルマネジメント）、さらには上級管理者（トップマネジメント）に昇進するのが通常であるので、この場合には、アカウントとマネジメントの両方の仕事を担当することになります。

アカウントには、会計専門家として必要な、会計および法律に関する幅広い知識が要求されます。特に、公認会計士・税理士などの資格試験に合格するためには、本学の講義だけでなく、教員から適切な指導を受け、さらに専門学校が提供している受験対策などを利用して少なくとも2、3年は集中的に勉強することが必要です。企業の経理部門・財務部門の仕事に従事する場合には、ディスクロージャーを任務とする財務会計、組織のマネジメントと結びつく管理会計の両分野の知識が必要とされます。

## 【 企業会計類型 】

類型の概要	
<p>戦略及び経営管理の基礎情報である会計制度と会計情報に関する基礎知識と理論を学習するための科目を軸として、企業経営、市場・社会に関する視点を涵養するための科目により構成し、企業内外における会計専門家として必要な力の獲得を目指す学習への指針を提示する類型。</p>	

要件及び単位数	科目区分、授業科目名及び単位数		備考
コア指定科目 2単位	コア科目	簿記会計 ②	必修
コア選択必修科目 4単位以上	コア科目	ミクロ経済学A ② ミクロ経済学B ② 統計学A ② 統計学B ② 法学 ②	
指定科目 2単位	会計情報学科	会計学基礎 ②	必修
選択必修科目1群 (会計情報学科科目) 12単位以上	会計情報学科	財務会計総論Ⅰ ② 財務会計総論Ⅱ ② 上級財務会計Ⅰ ② 上級財務会計Ⅱ ② 監査論Ⅰ ② 管理会計総論Ⅰ ② 管理会計総論Ⅱ ② 原価計算論Ⅰ ② 原価計算論Ⅱ ② 連結会計論 ②	
選択必修科目2群 (ファイナンス学科科目) 2単位以上	ファイナンス学科	証券市場論 ② 計量ファイナンス基礎 ② コーポレート・ファイナンスⅠ ② コーポレート・ファイナンスⅡ ②	
選択必修科目3群 4単位以上	社会システム学科	民法入門・総則 ②	

(社会システム学科科目)		商法 会社法 有価証券法 税法総論 税法各論	② ② ② ② ②	
選択科目	経済学科	計量経済学Ⅰ	②	コア選択必修科目4単位以上、選択必修科目1群12単位以上、選択必修科目2群2単位以上、選択必修科目3群4単位以上を含め、選択科目と合わせて26単位以上修得
		計量経済学Ⅱ	②	
		日本経済史	②	
		応用ミクロ経済学	②	
	企業経営学科	近江商人経営論	②	
		経営管理論	②	
		ビジネス・エコノミクス基礎	②	
		ビジネス・エコノミクス	②	
	会計情報学科	経営戦略論	②	
		中級簿記Ⅰ	②	
		中級簿記Ⅱ	②	
		監査論Ⅱ	②	
税務会計論		②		
財務諸表分析論Ⅰ		②		
財務諸表分析論Ⅱ	②			
国際会計論Ⅰ	②			
国際会計論Ⅱ	②			
合計単位数	30単位以上			

## IV 企業分析類型

会計情報分析の考え方と手法の修得のための科目、そしてそれを基盤として企業経営と成長性・収益性・安全性等を資本市場及び種々の利害関係者の立場から分析するための力を養成する科目により構成し、企業とその戦略の価値を評価する力の獲得を目指す学習への指針を提示する類型。必要に応じて、データサイエンス学部の科目も履修していきます。

企業経営と成長性・収益性・安全性などを、資本市場および種々の利害関係者の立場から、経済学的手法を含めさまざまな手法を用いて分析するために役立つ知識の習得を目指します。戦略および経営管理をサポートする会計情報システム等の知識を習得するとともに、資本市場における会計情報の有用性の経済学的分析手法について学びます。

卒業後の進路・就職先・業種としては、金融業、製造業、ソフト業界、商社、小売業などほとんどの業種の管理者(マネジメント)および証券アナリスト、経営コンサルタント、ファンド・マネージャー、フィナンシャル・ストラテジスト等の専門職があげられます。

## V 2つのコースはどう違うの??

「企業会計類型」は、主に企業(財務情報の作成者)の立場からの会計理論や具体的な会計処理方法について学びます。「企業会計類型」の科目は、会計専門家として必要な専門的知識を得ることをねらいとして構成されています。

それに対して、「企業分析類型」は、利害関係者(財務情報の利用者)の立場からの会計理論や会計情報を用いた分析手法について学びます。「企業分析類型」の特徴は、経済学とファイナンスと会計を融合して企業分析に結びつける点にあります。「企業分析類型」では、会計科目が核となるのはもちろんですが、経済、企業経営、ファイナンス分野の知識の重要性が相対的に高くなります。

## 【 企業分析類型 】

類型の概要	
<p>会計情報分析の考え方と手法の修得のための科目、そしてそれを基盤として企業経営と成長性・収益性・安全性等を資本市場及び種々の利害関係者の立場から分析するための力を養成する科目により構成し、企業とその戦略の価値を評価する力の獲得を目指す学習への指針を提示する類型。</p>	

要件及び単位数	科目区分、授業科目名及び単位数		備考
コア指定科目 2単位	コア科目	簿記会計 ②	必修
コア選択必修科目 4単位以上	コア科目	ミクロ経済学A ② ミクロ経済学B ② 統計学A ② 統計学B ② 経営学 ②	
指定科目 6単位	会計情報学科	会計学基礎 ② 財務諸表分析論Ⅰ ② 財務諸表分析論Ⅱ ②	全科目必修
選択必修科目1群 (会計情報学科科目) 8単位以上	会計情報学科	財務会計総論Ⅰ ② 財務会計総論Ⅱ ② 上級財務会計Ⅰ ② 上級財務会計Ⅱ ② 管理会計総論Ⅰ ② 管理会計総論Ⅱ ② 上級管理会計Ⅰ ② 上級管理会計Ⅱ ② 原価計算論Ⅰ ② 原価計算論Ⅱ ②	
選択必修科目2群 (他学科科目) 10単位以上	経済学科	数理経済学 ② 応用ミクロ経済学 ② ゲーム理論 ②	

		計量経済学Ⅰ	②
		計量経済学Ⅱ	②
	ファイナンス学科	金融契約論Ⅰ	②
		金融契約論Ⅱ	②
		コーポレート・ファイナンスⅠ	②
		コーポレート・ファイナンスⅡ	②
		証券分析とポートフォリオ・マネジメントⅠ	②
		証券分析とポートフォリオ・マネジメントⅡ	②
		証券分析とポートフォリオ・マネジメントⅢ	②
		企業分析とコーポレート・ファイナンスⅡ	②
		ファイナンス数学	②
		証券市場論	②
		証券市場論各論	②
	企業経営学科	経営管理論	②
		経営戦略論	②
		オペレーションズ・リサーチ	②
		ビジネス・エコノミクス基礎	②
		ビジネス・エコノミクス	②
		マーケティング戦略	②
	データサイエンス学科	解析学	②
		多変量解析入門	②
		多変量解析	②
		統計数学	②
		回帰分析	②
		確率論	②
合計単位数	30単位以上		

## VI 会計情報学科 科目紹介

簿記会計では、会計学全体を支える基礎的な会計計算技術を講義形式で習得します。また、簿記会計に関連して、問題演習のクラスも開講されます。簿記会計は、1年次春学期に履修してください。

会計学基礎では、簿記会計を踏まえ、会計の基礎的理論や、初歩的な原価計算の手法等を学びます。会計学基礎は、1年次秋学期に履修してください。

中級簿記Ⅰ・Ⅱは、簿記会計を踏まえ、株式会社を対象とした中級レベルの簿記について学びます。原価計算論Ⅰ・Ⅱは、工場で生産するさまざまな製品の原価を計算する手続きを取り扱います。原価計算は財務会計にも管理会計にも必要な知識を提供します。

財務会計総論Ⅰ・Ⅱと管理会計総論Ⅰ・Ⅱは、会計学の2大分野である財務会計（企業外部の利害関係者への情報提供が目的）と管理会計（企業内部の経営者・管理者による戦略・計画の策定、およびその実行と統制のための情報提供が目的）について包括的に学びます。これらの会計科目の勉強を通して、会計学の基礎を体系的に理解することができ、より専門的な上級科目を勉強するための準備が整います。

財務諸表分析論Ⅰ・Ⅱは、さまざまな財務指標や統計的手法を用いた会計データの分析方法について学びます。

上級財務会計Ⅰ・Ⅱは、より高度な会計理論および会計処理について勉強します。会計専門家になるには最も重要な科目といえます。上級管理会計Ⅰ・Ⅱは、管理会計の重要なトピックに焦点をあてて、より高度な会計理論および会計処理について学びます。

監査論Ⅰ・Ⅱは、会計学に欠かせない分野である監査について勉強します。連結会計論は、企業集団の視点にたった会計システムについて学びます。国際会計論Ⅰ・Ⅱでは、国際的視点にたった会計システムを考える場合に、会計システムがどのような社会的情報ニーズに応えるべきか、そこでの問題は何かなどについてその財務会計的側面と管理会計的側面の両面から学習します。

※ なお、教養教育科目として、**社会と会計、組織と会計、生活と企業**といった会計情報学科所属の教員が担当する科目があります。ただし、「豊かな人間性を涵養し、幅広い知識を背景に広い視野から物事を考えることのできる能力を培う」という教養教育の理念によれば、1-2年次のうちには、これらの科目に限らず、幅広い分野にわたる科目を履修することが望まれます。

以上、会計情報学科教員が担当する科目について説明しましたが、会計学の学び方、将

来の進路と結びつけての科目履修計画の立て方などに関して質問がある場合には、躊躇することなく会計情報学科の教員の研究室をたずねてください。

われわれは、みなさんの効果的な学習をサポートできるよう、可能な限り情報を提供します。



## 会計情報学科所属スタッフの紹介

教員名	太田 善之（おおた よしゆき）教授
学位・学歴	名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程
担当科目	入門セミナー、財務会計総論Ⅰ・Ⅱ、専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
専門分野	財務会計論
現在の研究	ドイツ会計学、動態論、静態論、損益計算、資本維持論
メールアドレス	y-ota@biwako.shiga-u.ac.jp
研究室	527
オフィスアワー	月曜日の昼休み。または、メールによる予約に応じて。
新入生へのメッセージ	滋賀大学経済学部における学生時代は、いろいろなことにチャレンジすることができる残された4年間（？）です。良い意味での「回り道をする」学生生活を送って下さい。よく学び、よく遊べ！！

教員名	野田 昭宏（のだ あきひろ）教授
学位・学歴	博士（経営学）神戸大学
担当科目	入門セミナー、国際会計論Ⅰ・Ⅱ、専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
専門分野	財務会計論、国際会計論
現在の研究	数理モデルにもとづく会計研究、進化ゲームによる会計制度変化、利益調整行動
メールアドレス	akihiro-noda@biwako.shiga-u.ac.jp
研究室	541
オフィスアワー	月曜4限～5限
新入生へのメッセージ	① できる限り多くのアウトプットをしてください。 ② 上記①についてさまざまなひとから評価を受けてください（客観的な自分の姿に気づくことは大切。他者からの批判を避けて自分の殻に閉じこもらない）。 ③ あなたを評価する他者は選びなさい（誰があなたを評価するかは重要です。優れたひとびとの中に自分を置くように）。

教員名	<b>宮西 賢次（みやにし けんじ）准教授</b>
学位・学歴	大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程 ノースウエスタン大学 J.L.Kellogg 経営大学院博士課程
担当科目	財務諸表分析論 I・II、簿記会計、外国文献研究、専門演習 I・II・III・IV
専門分野	管理会計論、財務諸表分析論、企業価値評価、多変量解析
現在の研究	会計ディスクロージャーの理論 会計不正検出モデルの研究(データサイエンス学部と PwC あらた監査法人との共同研究)
メールアドレス	kmiya@biwako.shiga-u.ac.jp
研究室	4 1 7
オフィスアワー	水曜日の昼休み、メールで予約。
新入生へのメッセージ	入学おめでとう！ やりたいことを見つけ、どんどんチャレンジして、一杯失敗もして、一杯学ぶ、そんな魅力的な学生生活を過ごしてもらえればと思います。 アメリカの大学事情・留学事情、海外インターンシップ事情に詳しいので、いつでも気楽に相談してください。 陸上部顧問、会計ラボ顧問、株式投資研究会顧問、グローバルネットワーク Shiga (GNS) 顧問、アイセック滋賀大学委員会理事長をしています。 4年間、どうぞよろしく！

教員名	<b>可児島 達夫（かにしま たつお）准教授</b>
学位・学歴	関西学院大学大学院商学研究科博士後期課程
担当科目	簿記会計、簿記会計（答練）、上級財務会計 I・II、専門演習 I・II・III・IV
専門分野	財務会計論
現在の研究	会計利益計算構造の深化の研究
メールアドレス	kanisima@biwako.shiga-u.ac.jp
研究室	6 1 5
オフィスアワー	金曜日の昼休み（12：00～12：30）（※念のため、E-mail で事前に連絡をもらえると助かります。）
新入生へのメッセージ	長いようで短い“自分探しの旅”の始まりです！ 大学では自ら求め、行動しなければ、何も得ることはできません。 講義、ゼミ、課外活動などを通して、様々な知識と経験を得て、様々な人と交流し、自分を知り、磨き、豊かになってください。 人生で最も貴重なこの4年間を精一杯自己研鑽に努めてください。

教員名	赤塚 尚之（あかつか なおゆき）准教授
学位・学歴	早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程
担当科目	入門セミナー、会計学基礎、原価計算論I・II、専門演習I・II
専門分野	IFRS 会計制度論（財務会計論・国際会計論）
現在の研究	引当金会計、気候関連リスクの会計、銀行会計、包括利益の会計、インド会社法（“Mandatory CSR”・女性取締役の登用義務（“One Woman Quota”）と企業価値の関係）など
メールアドレス	n-akatsu@biwako.shiga-u.ac.jp
研究室	4 1 5
オフィスアワー	木曜日の昼休み（12：10～12：50）（もし可能であれば、あらかじめe-mailで連絡してください。）
新入生へのメッセージ	<p>コロナ禍での受験生活、お疲れ様でした。しかし、晴れて大学生となってもなお、コロナ禍は、まだまだ収束の兆しが見えません。そのようななかでも、「今やるべきこと・自分だけでやれることを、しっかりとクリアしておくこと」が、将来につながることでしょう。皆さんの先輩たちを見ていると、就職等の進路を決めるまでに、大きな差が生じてしまっているように感じています。</p> <p>こういう時代だからこそ、先人たちの言葉に励まされることも多いように思います。ひとつ、ご紹介してお祝い言葉に代えさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">「鍛錬」</p> <p>何かあるたびに、これしきのことにとさえ思っていけばなんでもない。  鍛錬は、成功の母である。  従って、成功せんとすれば自ら進んで苦労の中へ  突き進んでゆく勇気がなければならない。  （『大隈重信 演説談話集』岩波文庫）</p>

教員名	笠井 直樹（かさい なおき）准教授
学位・学歴	博士（経営学）神戸大学
担当科目	入門セミナー、監査論Ⅰ・Ⅱ、専門演習Ⅰ・Ⅱ
専門分野	監査論、財務会計論、実証的会計研究
現在の研究	Audit Quality, Audit Fees, Earnings Management, Bank-Firm Relationship
メールアドレス	n-kasai@biwako.shiga-u.ac.jp
研究室	6 1 7
オフィスアワー	水曜日（12：00～12：50）。用件のある場合は、事前に連絡（メール）をください。
新入生へのメッセージ	有名大学卒業（編入）！有名企業就職！短期（語学）留学！社会起業家！ESG！等々… どこかの偉い人が適当に決めた価値評価基準とは違う価値観を持った面白い人になってくれることを密かに期待しています。私個人はそういう学生さんに会えることを楽しみにしています！もちろん、長い物には巻かれることも大事だと思っておりますけども。

教員名	衣笠 陽子（きぬがさ ようこ）准教授
学位・学歴	京都大学博士（経済学）
担当科目	（担当なし）
専門分野	管理会計論
現在の研究	医療機関の管理会計について研究しています。
メールアドレス	y-kinugasa@biwako.shiga-u.ac.jp
研究室	4 0 3
オフィスアワー	
新入生へのメッセージ	新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。勉強であれ、生活経験であれ、これから皆さんが経験することは、何ひとつとして無駄なことはありません。いろいろなことに挑戦してください。そして共に楽しみ、学び合いましょう。

\* 今年度は育児休業中です！

(非常勤教員)

教員名	北田 真紀 (きただ まき) 准教授
学位・学歴	博士 (経営学) 大阪大学
担当科目	簿記会計、簿記会計 (答練)、管理会計総論 I・II、専門演習 III・IV
専門分野	管理会計・環境経営
所属/現職	園田学園女子大学経営学部

教員名	篠田 朝也 (しのだ ともなり) 教授
学位・学歴	京都大学博士 (経済学)
担当科目	上級管理会計 II (春・夏季集中講義)
専門分野	管理会計論、財務諸表分析論
所属/現職	岐阜大学社会システム経営学環

教員名	山下 直紀 (やました なおき) 講師
学位・学歴	滋賀大学経済学部
担当科目	簿記会計
所属/現職	山下公認会計士・税理士事務所

教員名	頼 誠 (より まこと) 教授
学位・学歴	博士 (経営学) 大阪大学
担当科目	上級管理会計 I (春)
専門分野	管理会計論
所属/現職	兵庫県立大学大学院会計研究科